

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

学校の先生から薦められたことや、同志社女子大学の生活科学部では1つの分野にとらわれず、いろいろなことが学べると思ったからです。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

英単語、古文単語を覚え始めました。覚える単語数を1週間ごとに決めて進めていきました。ある程度単語が覚えられたら、文法にも焦点を当て、勉強しました。英語の文法は単元ごとに進めているうちに、自分の苦手な部分があるのので、その部分を繰り返し返して勉強しました。

〔夏休み〕

文法や単語が身に付いてきたので、長文を解く練習を始めました。いろいろな長文を解いていくうちに、英語の長文を読むのにどんどん慣れていきました。長文を読んでいるときに出てくる単語なども覚えていくと良いと思います。古文の学校の小テストで単元ごとの復習もしました。

〔2学期～入試直前〕

世界史が全然身に付いていなかったのので、参考書で全範囲覚え直しました。1日何単元覚えるか決め、細かい所は教科書や学校のプリントなどで調べ、メモをしました。英単語、古文単語も長文を解く事に1番重要だと過去問を解いて感じたので、空き時間は全て単語に使いました。過去問を解くときは必ず時間を計り、わからなかったところはしっかりやり直しをしました。時間に間に合うように普段から意識することはとても大事な事だと思います。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

家に居るとどうしてもダラダラしてしまったり、スマートフォンを触ったりしてしまうので塾の自習室に行くようにしていました。でもずっと勉強をしていると集中力は続かないので、塾から帰った後はリラックスして過ごすようにして、切り替えを大切にしていました。スマートフォンの時間を決めるよりも勉強する時間を決めて、メリハリをしっかりとつけると良いと思います。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験は本当に大変です。私も直前まで不安でいっぱいでしたが、直前まで諦めず、基礎を常に大切に勉強し続けたことで、合格することができました。だから皆さんも最後まで諦めずに頑張ってください。